

チャンス チャレンジ チェンジ Chance Challenge Change(3つのC)

生徒作文:林間学校を振り返って

【1組】

まず、林間学校を通して、110人以上の集団がプログラム通りに行動するのは難しいと感じました。1日目、時間を大幅に遅らせてしまって反省だらけの1日でした。でも、2日目は、早めの行動や呼び掛けを増やしてスムーズに行動できて、5分前行動の大切さを改めて感じた2日間でした。そして、林間学校中、普段は話さない人とも関わることができたし、班の仲間ともより絆を深めることができてよかったです。私がリーダーを務めさせてもらっているからには、もっと私が行動に移していかないといけないと思うから、異変に素早く気付いて、気付きだけで終わらない行動をとりたいです。この2日間、反省がものすごく多かったけど、2日間で成長できたことには変わりないし、林間学校での反省を今後の生活に生かしていきたいです。

【2組】

林間学校では、時間が決まっている中で、たくさんの遅れが出たり、失敗を繰り返してしまいました。遅れが出たということは、待っている人はさらに待つことになり、安心感はありませんでした。実行委員&班長会議では、課題がたくさん出ました。そのことを班員に伝え、時間を気にしてくれて、時間が余るほどになりました。失敗のままではなく、立て直せたことをこれからも生かしていきたいです。こんな大きな失敗の中でも、ナイスなことはありました。1人1人の考えや行動が次につながることで、林間学校での経験を生かして、仲間の良いところや課題も見つけプラスに捉えて、失敗を成功に変えていくことに意味があることを学びました。守るだけでなく、仲間に広げていくことも大切で、メリハリをつけて過ごしていけるといいと思います。

【3組】

時間の意識は、自分だけができていても周りが分かていなければ成功にはつながらないと感じました。自分の役割だけ動いている人がかなりいたと思いました。別にレク係でも食事係でも保健・美化係でも声掛けしてはいけないわけではないし、むしろ全員が声を出せるくらいでないといけない環境だったと気付けた人がそこまで多くいなかったということが原因だと思いました。学校生活でもこれはつなげていけるものだと思うし、声を出してくれた人もいたので、もっと全体を引っ張っていくべきだと思いました。

【4組】

林間学校を通して学んだことは、いろいろなものを広く見ることです。林間学校では、同じ時間にいくつもの大事な活動が行われていたので、自分がやっていること以外にもしっかり目を向けて、今、仲間がどんなことをやっているのかを把握することが大切だと学びました。反省したいことは、「時間」についてです。林間学校1日目で、行動が遅く集合時間が間に合わなく、実行委員や班長などの仲間に迷惑をかけてしまいました。事前から学校生活で「時間」を意識して行動していればこのようなことには起きなかったと思いました。しかし、1日目の反省を生かして、2日目は5分前行動をできるだけ意識することができました。林間学校で学んだことを今後の学校生活に生かしていきたいです。

※林間学校を通して、お子様たちの大きな成長を実感する作文で、学年部職員一同感動しております。今後の教育活動の中で、心身ともに健やかにさらに成長していくよう、職員一同御支援させていただきます。